

(行政視察・**政務活動**・議員研修) 報告書

平成 28年 3月 //日

白石市議会議長 佐久間 儀 郎 殿

議員氏名 志村新一郎

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成28年 3月 3日 (木) ~ 3月 4日 (金)
調査・研修先	衆議院第二議員会館 地下一階 第八会議室
調査事項 (研修事項)	1 地方創生について 2 TPP妥結後の日本経済の見通し 3 スマートインターの設置時の自治体負担等
対応者・講師等	創生本部事務局参事官・金澤正尚生産局乳製品課・酒井利成政策統 括官農業企画課企画官・道路国道・防災課依田企画専門官・鳴海係 長高速道路課甲斐企画専門官
概要 1 背景・目的 2 内容・特色 3 主な質疑 4 考察 (感想、課題、 政策提言等)	1 地方創生の取り組みについて 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局内閣府地方創生推進 室の資料により説明を受け質疑応答を行った。私達白石市でも地方 創生の補正予算が上程され今議会において質疑がなされた。今後 において人口問題が国においても白石市においても大変な問題となり 地方創生をいかに我白石市に活かして行くか努力を重ね行政と一緒 に魅力ある白石市、希望を持てる社会を作らなければならない。 2 農政新時代農林水産分野における品目T.P.P対策畜産関係分 野・米交渉結果 T.P.Pに関しては米にしても、畜産に関しても、政府の交渉の結果 を自慢し、今米国で行われている大統領選挙において有利な方々は T.P.Pに反対をしており今後さらに、難しい交渉のテーブルにつか なくてはならないのではないか、大変心配であります。 3 一般国道四号 金ヶ瀬拡幅 スマートインターの整備 四号線の拡幅について金ヶ瀬地区は平成30年に前線開通予定であ る。白石地区付加車線整備工事に関しては今後速やかに施工して行き たいとの説明と拡幅に関しては今の所無いと言う話でした。 スマートインターは国の高速道路のI.Cの間隔は平均10キロで、 今後は、5キロ程度にして整備したいと言う話があり、また高速道 路の改良やE.T.Cの設置までは高速道路機構が負担し接続する一般



	<p>道路は地方自治体の負担と成るということでした。</p> <p>白石市においても白石インターから国見インターまでは約20キロあり設置の対象と考えることが出来るのではないかとと思われる。</p> <p>尚直線部分に設置するのが望ましいとの話でした。地方自治体の検討を尽くし周辺の現況や整備等を含め白石市も検討すべきであり進めるべきである。</p>
--	--